

大会宣言（案）

私たちは本日、内外の厳しい状況の中で、この場に結集し、大椿ゆうこ社民党全国連合副党首・参議院議員を迎え、新自由主義政策から社会民主主義政策への転換、「富裕者達は連合し、働く者たちが連合できない」現実をとともに変えること、憲法を守らせること、非戦国家日本を取りもどすことが社民党の任務であることを、意思統一しました。

急速に進む少子・高齢・人口減少社会に突入した日本。自公政権は新自由主義による金持ちや大企業への優遇政策を続け、国民は分断され、格差拡大・貧困社会が進み、急激な人口減少社会が到来することは予測されたにもかかわらず、これを放置し、国力は低下、国家存亡の危機に向かっています。多額の税金を投入しマイナンバーカードの普及に躍起となっていますが、本音は個人の預貯金の把握と税収確保が目的であり、当初のシステムに健康保険証や公金口座などの紐づけ（一望監視社会）でトラブルが多発し、この制度に対する国民の信頼は大きく低下しています。

安保3文書は憲法違反で専守防衛を逸脱し敵基地攻撃能力を備え、武器輸出に道を開き、防衛産業の国営化を可能にし、軍備増強と戦争のできる国へと舵を切り、そのために増税を目論んでいます。また、「ロシアによるウクライナへの軍事侵略や周辺国の安全保障環境が厳しくなっている」等と国民を煽り、平和憲法改悪への動きを加速しています。G7広島サミット「広島ビジョン」で、岸田首相は被爆地広島を政治利用し、核兵器禁止条約には背を向け、核抑止力を正当化しながら、核兵器をなくすのは究極の目標などと先送りし、被爆者・ヒロシマの心を踏みにじるものとなりました。

自公長期政権がもたらした消費税増税をはじめ、雇用・経済・医療・福祉・教育政策や安全保障（軍備増強）政策などにより国民生活は破壊され、政治不信は募り、とても民主国家とは言えない社会が到来しています。

政治の役割は、市民の生命・財産を守ることにあります。そのために私たちは、平和で市民生活も経済的に安定した社会を築くため、不断の努力による護憲・平和運動、核兵器廃絶、脱原発、雇用問題などにとりくんでいます。

とりわけ、私たちはこの1年間、全党員が一丸となって各選挙戦を戦い、参議院選挙では得票を伸ばし、自治体議員選挙では全員当選を勝ち取りました。そして、日常的に「3の日行動」「19行動」「リレー街宣」「県病院を宇品に残す街宣活動」等を積み上げて、市民の信頼と支持を集めてきました。

これらの成果を達成した教訓に学びながら、党員・協力党員・サポーター、新報・「月刊社会民主」を拡大し、学習会を組織し、地域の課題を解決していきましょう。

大会議論のなかで明らかになった前進の基盤を共通認識として、支部協議会、支部連合の組織強化を進め、党の前進、来る衆議院選挙勝利を勝ち取りましょう。右宣言します。

2023年6月25日

社会民主党広島県連合第30回定期大会